

— 私とコーラス人生 —

高橋 一成 (S29)

年齢80半ばとなると周囲には鬼籍に入るものが増え、自分も身辺整理と共に過去を振り返ることが多くなった。様々な出来事や節目には運命的な人との出会いがある。

コーラスとの出会いは、京都で育った私が昭和22年4月旧制山口高校に入学し、全寮制の東寮六室の先輩I氏から音楽部(合唱部)に強引に入れられたことから始まる。昭和23年秋の第1回合唱コンクールの課題曲は、清水脩作曲の「秋のピエロ」で懸命に練習し、山口県で2位に入った。私の青春時代の象徴の曲であった。

一浪の後京大経済に入学し、直ちに京大合唱団に入団した。そこで出会ったのが1年先輩の多田武彦氏で、京大合唱団70年誌にも書いたようにグループコーラスあり、オペラ研究会ありの中に、多田氏を中心とする男声の「コールスタッグス(いかれボンチ)」なるユニークな小グループがあり、小品やコミック曲を彼の編曲で歌った。演奏旅行などで披露し喝采を受けた。

26年秋の合唱コンクール学生の部で、多田氏指揮の京大男声は自由曲に清水脩作曲の組曲「月光とピエロ」中の「ピエロ」歌い、見事2位に入った。(1位の関西学院グリーが前年通り「一般の部」で出場しておれば、京大が学生の部1位となった筈だ)

11月の定演では男声は組曲「月光とピエロ」全曲を歌った。偶々清水脩作曲の交響曲作品発表会が12月にあるのを聞きつけ、当時涉外だった小生は、青木信美先輩らと共に、その演奏会で「月光とピエロ」を歌わせて欲しいとおこがましくも申入れ、私にとっては神様の存在の清水先生の計らい許可され、昼と夜の部の演奏会の冒頭で歌った。これが好評で、喜ばれた清水先生は翌年学生集会所に来られ、我が家に多田氏と共に泊まって貰って懇談したこともあった。当時京大の「月光とピエロ」は有名になった。

多田武彦氏が卒業後富士銀行に就職しながら、清水先生のアドバイスを受けて独学でその後作曲活動を続け、翌年「柳川風俗詩」を始め、「富士山」、「雨」等の名曲を世に出された。私の「風が吹けば桶屋が儲かる」式解釈で云えば、旧山口高校東寮六室に偶々入った時のI氏との出会いが「柳川」を産んだのだ、と。

今手元に当時の京大男声が歌った「月光とピエロ」5曲の楽譜が残っている。当時は全て鉄筆で書いた「ガリ版刷り」の楽譜で、サインによると多田氏が「②秋のピエロ」「③ピエロ」の2曲。私は「①月夜」「④ピエロの嘆き」「⑤ピエロとピエレットの唐草模様」の3曲を引き受けている。楽譜記載のサインは、多田 武彦;「T. Td.」、高橋 一成;「I. Tkhs.」とある。私にとっては、いずれ「棺桶」に共に入る宝物と思っている。

26年5月の演奏旅行で名古屋大学と合同演奏会を持った時のH君は、旧山口高の後輩で今も名古屋から神戸に出て来て歌っている。東京で早稲田グリーと慶応ワグネルと交歓会を持った時に世話になった稲門グリーのT君は竹馬の友で、四大学OB演奏会やコーラスOB早慶戦には切符を貰って聴きに行く。又毎月昼飯会を持っている。これも運命的の出会いか、コーラスの魔力の技であろう。



同窓会をとりまく一般状況・今後の動向

1. 一般状況

同窓会会員会費納入者は、およそ1,300人である。その居住分布は、おおよそ東日本(首都圏):西日本(関西)=1:2となっている。同窓会会員による京都の京大同窓会合唱団(女声・男声・混声)や、関東圏の東京洛友ハーモニー(混声)に参加しつつ、他の関連合唱団にも参加している会員も多く、多様な合唱活動を活発に行っている。一方各地域の合唱団で活躍している会員も多い。京大同窓会合唱団で平成卒団者が男声指揮者として活躍され、東京洛友ハーモニー合唱団に複数の平成卒団者が入団される等、現時点で東西の同窓会合唱団を中心とした活動は順調と言えるかもしれない。

しかし将来の同窓会活動を担う世代の参加、活躍が求められ、少子高齢化の流れの中で、今後の会員数、会員構成の動向に注意を払う必要がある。係る状況を背景に同窓会は、現団の4回生の卒団時の同窓会入会施策を積極的に推進し、その為に現団との一層の交流を図り、学生集会所の建て替え問題などを通じ、現団演奏活動への同窓会としての直接的応援、現団との連携、コミュニケーションの強化、現団が練習活動時に必要としている物品等への購入支援等も活発化している。

昨年からは開始した同窓会費納入時の、現団支援の為に任意の寄付募集制度の採用により、大変有り難いことに、寄付額も増え、同窓会から現団への支援活動を具体的に計画出来る状況に至った。又京都大学当局より、2012年11月10日「第7回京大ホームカミングデイ」の記念音楽会への出演要請が同窓会に寄せられ、全国の同窓会員に出演を呼びかけ、京大同窓会合唱団を中心とした記念演奏会が実現出来、昔懐かしい現団BOXでのリハーサル、学生集会所前での「学生生集会所100周年記念撮影会」、新装なった楽友会館での懇親会、その後の現団のパワースポットの学生食堂「キャラバン」での超満員の二次会等、全国の会員に青春帰郷の機会を設けることが出来た。そして上記演奏会等、同窓会の長年に亘る活動が評価され、昨年、京都大学総長推薦により、同窓会は京都大学同窓会評議会に加入した。全学同窓会の文化クラブ・サークル活動に対する寄与が期待されている。

同窓会の活動は、従来同窓会の内部行事に限られて来たが、初の試みとして、外部に出て行つての東北被災地への支援演奏会活動は、全国の同窓会員有志21名の参加によるものではあったが、昨年6月に被災地訪問(下見ツアー)として実現し、引き続き新たな動きが出て来ている。

2. 今後の動向

この間の組織的な総会、懇親会開催は、2003年9月(東京)、2006年12月(京都:創立75周年)、2011年9月(京都:創立80周年)であった。同窓会員の参加状況を高めるため、これまでは総会は演奏会と一体で計画して来た。同窓会規約により2015年が次期総会開催年に当たる。

一方、同窓会合唱団は2003年東京で最初の演奏会を開催した。その後、2年毎に5回連続して京都で演奏会を催している。又2009年10月に設立された東京洛友ハーモニーは東京都合唱祭に出演しながら、2011年より同窓会合唱団の京都での演奏会に参加するようになった。次回演奏会は2015年秋が想定される。演奏会が開催されれば、これと一体で総会をもつことが自然と考えられる。

学生集会所は2013年9月解体撤去工事に入った。11月に跡地の埋蔵文化財調査が始まり、2014年2月に埋蔵文化財調査が終了し、この5月に新学生集会所建設工事がスタートした。竣工は2015年5月が予定されている。これまで京都大学の当局とは、竣工時に何らかの記念行事を催すことで意見交換した経緯がある。

京大合唱団同窓会会長 松井三郎(S.41) 代表幹事 望月勝房(S.43)





新学生集会所建設状況報告



[学生集会所の解体撤去と埋蔵文化財調査]

施工業者(株)内田組は2013年9月上旬、まず扉、窓など非構造材を撤去し、ついで西から東にかけ本格的解体工事を行った。9月下旬一部基礎を除き解体撤去工事は終了した。

10月より京都大学文化財総合研究センター指導の下、学生集会所跡地に対する埋蔵文化財調査が開始された。跡地より多数の溝、集石列を始め、平安時代のものと比定される土蔵の配石、奈良時代のものと比定される井戸跡、縄文時代のものと比定される土器破片400点などが出土した。しかし大規模構造建築物の遺構跡は検出されなかった。埋蔵文化財調査は2014年2月14日終了した。



埋蔵文化財調査(2013年12月)西方向に撮影

[新学生集会所の建設]

2013年9月26日京都大学は本体工事に当たる「学生集会所新営その他工事」を入札公告した。これによれば鉄筋コンクリート造、地上3F、地下2F、延床面積2,976㎡。着工は2014年1月10日、竣工は12月5日となる。1月7日落札額、落札業者が公表された。付帯工事を含めた工事総額982,600千円は、2013年1月新年名刺交換会で松本総長が紹介した額640,000千円の1.5倍になる。

(千円、税別)

本体工事	: 770,000	(株)淺沼組
機械設備工事	: 117,000	(株)日設
電気設備工事	: 95,600	(株)弘電社

2014年4月現地で施工業者に確認したところ、入札公告時の計画より約半年遅れ、5月着工、2015年5月竣工予定としている。東日本大震災復興工事などの影響で、工事担当者の手配がタイトであるとも聞く。現在ボーリングが行われており、地下スペース確保のため間もなく地表から10m超掘り下げられる。



建設現場(2014年5月)東南方向に撮影

[新吉田寮の建設]

1996年10月31日焼失した京都大学交響楽団BOX跡地に対し、2013年9月20日京都大学は本体工事に当たる「学生寄宿舍吉田寮新棟新営その他工事」を入札公告した。これによれば吉田寮新棟は木造一部鉄筋コンクリート造、地上3F、地下1F、建築面積585㎡、延床面積2,107㎡となる。工事は2013年12月1日着工、2014年12月1日竣工の計画で進み、下層部分の構造が既に明らかになっている。なお現吉田寮、及び新学生集会所と新吉田寮の間にあるイチヨウ並木は工事の関係で一部の枝が伐採されたが現存している。

(広報・企画担当) 石動 正和(S48)

♪ 現団中期演奏会案内

現団総務 和田 直樹・山野 真奈

JOINT CONCERT 2014

日時：7月20日(日) 開場16:00 開演16:30 場所：吹田市文化会館メシアター大ホール 入場料:1000円

- ◆ 1st Stage：京都フラウエンコール
鳥かねもん勘三郎、天満の市は、さんさい踊り、田の草取り唄 作曲:間宮芳生
- ◆ 2nd Stage：大阪大学男声合唱団
Down by the Sally Gardens (アイルランド民謡)、Wait for the wagon (アメリカ民謡)、
Aura Lee (アメリカ民謡)、Vive l'Amour (アメリカ民謡)、Loch Lomond (スコットランド民謡)、
Stodole Pumpa (Walking at Night) (チェコ民謡)
- ◆ 3rd Stage：武庫川女子大学コーラス部
「レ・ミゼラブル」より 夢やぶれて、「雨に唄えば」、「アニー」より トゥモロー、
「コーラスライン」より ワン
- ◆ 4th Stage：合同ステージ 混声合唱とピアノのための『良寛相聞』
作詩:良寛・貞心尼 作曲:千原英喜 指揮:浅井敬壹 伴奏:藤澤篤子

日本、海外の民謡やミュージカルなど各団の個性豊かな演奏がお楽しみいただけます。合同ステージは、客演指揮に浅井敬壹先生をお迎えした100人程の大人数でのステージとなっております。ぜひご来場ください。

四大学男声 Joint Concert 2014 (名称未定)

京都大学男声合唱団、筑波大学男声合唱団メンネルコール、横浜国立大学グリークラブ、九州大学コールアカデミー
日時：8月16日(土) 場所：長岡京記念文化会館 入場料:1000円(予定) 開場・開演:夕方ごろ(予定)

- ◆ 1st Stage：横浜国立大学グリークラブ 「信長貴富編曲 ジブリ名曲集」
- ◆ 2nd Stage：筑波大学男声合唱団メンネルコール 「Barbershop Songs」
- ◆ 3rd Stage：九州大学コールアカデミー 「ロシアの歌」
- ◆ 4th Stage：京都大学男声合唱団 「男声合唱組曲『明日へ続く道』」
- ◆ 5th Stage：合同ステージ 「Soul of America(仮称)」

過去に何度かJoint経験のある横浜国立大学、九州大学のみならず、創設間もない筑波大学を加え、合同ステージには一昨年のJoint Concertの横田諭先生を客演指揮に再度お迎えする予定です。京都ではなじみ深い五山の送り火の日となっていますが、その賑わいに負けないステージを作り上げるよう努めます。ぜひご来場ください。

♪ 京大合唱団はダイジョウブか

京大合唱団顧問 奥村 英之(S62)

伸びに伸びた学生集会所の解体作業は一旦始まるとトントン拍子に進み、我々の想いが詰まった『ボックス』は昨年の訪れとともに儚くかつ潔く消えた。埋蔵文化財調査は意外に大きな発見もなく早々に終了したが、東日本大震災の影響か、資材と人材不足で若干工期は遅れている。新集会所竣工は今年度末予定のため、現団の引越し作業や調度品購入は早くとも来年春発が終わった4月末になる。

今年の春の発表会では国際色も豊かに(日本・エストニア・ノルウェーの)爽やかな春らしい音を鳴らしていた。ただ、パンフ写真の男声33名、女声17名と、旧人だけとは言え淋しい。草食系男子のせいかな、(特に女声の)合唱離れか。定演オンステ200名(男声80、女声120)であった私が学生の頃とは隔世の感がある。その頃弱小だった医学系メディカルコールが100名超である事を考えると、違った意味での時代の流れを感じる。

引き続き現団を暖かくご支援下さい。

♪ 京大合唱団春の発表会を聴いて

同窓会会長 松井 三郎(S41)

京都府立文化芸術会館(2014年4月26日土曜日)で演奏された、恒例「春の発表会」は、会場が満席になる参加で、合唱団OB/OGの老若多くの顔も見られ、若者の演奏会らしく活気がありました。

- ◆ 第1 Stage：女声「地平線のかなたへ」より・谷川俊太郎詩・木下牧子作曲・手塚紗英子指揮・ピアノ木下亜子
- ◆ 第2 Stage：男声「Meespea-勿忘草」・Veljo Tormis作曲・加須屋春樹指揮
- ◆ 第3 Stage：混声「ノルウェー民謡曲選」・中村和輝指揮・フィドル農澤明大

全て3月ごろ開始の曲を暗譜で歌い上げた演奏能力の高さに感心、またそれぞれの指揮者が曲の内容を把握したうえ演奏を上質なまともまでに仕上げていることに、さらに感心しました。男声・混声は原語演奏でしたが、言葉の意味が伝わらなくても曲想が伝わる演奏能力は確かなものでした。我々の昔のレベルをはるかに超えた高度レベルで演奏してくれることに喜んでします。心配ごとは、今年の新入団者が少ないことでした。

2013年度収支報告

(会計担当幹事：梅原節子)

【一般会計】

当年度会計期間：2013年4月1日～2014年3月31日

収入	金額(円)	支出(内訳)	金額(円)	内訳金額(円)
2013年度会費	685,000	同窓会通信発行費	439,315	
		(印刷、コピー費)		225,557
寄付(45件)	254,200	(郵送、運送費)		191,930
		(事務用品費)		14,986
受取利息	1,156	(その他一般経費)		6,842
		同窓会通信外の郵送、運送費	520	
		幹事会合費	21,317	
		(会場費)		12,210
		(資料費)		287
		(その他一般経費)		8,820
		現団活動支援費	247,755	
		(演奏会広告、スタンドフラワー)		60,000
		(交流会合費)		24,500
		(練習場移転・新設什器)		99,730
		(卒団者記念マグカップ)		63,525
		会費郵便払込手数料	39,940	
		慶弔費(会員弔電)	15,000	
		その他特別経費	90,925	
		(学生集会所建替え説明会)		50,925
		(同窓会名簿追加製本)		40,000
		剰余金(資金へ繰入)	85,584	
合計	940,356	合計	940,356	

【資金収支】

摘要	金額(円)	内訳	内訳金額(円)
2012年度資金残高	5,127,435		
前受金		2012年度以前入金、2014年度以降会費	875,000
会費収入		2012年度以前入金、2013年度会費.....①	419,000
繰越金		2012年度以前入金、過年度会費を含む	3,833,435
2013年度入金会費	947,000		
前受金		2014年度以降会費	561,000
会費収入		2013年度会費.....②	266,000
過年度分		過年度会費	120,000
一般会計剰余金	85,584		
収入合計	6,160,019		
支			
出			
会費支出	685,000	2013年度分会費一般会計へ.....①+②	
支出合計	685,000		
* 残高	5,475,019		

* 残高(5,475,019円)の内訳

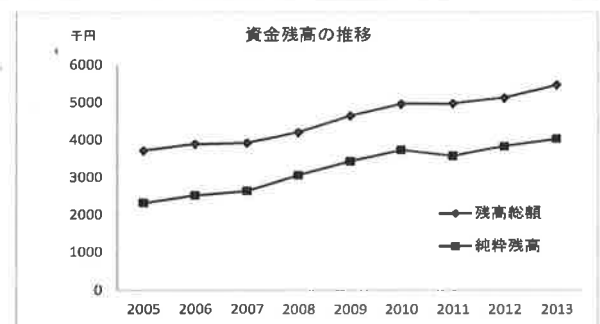
前受金(2014年度会費)	470,000円
前受金(2015年度以降会費)	966,000円
純粹の資金残高	4,039,019円

会計監査を実施した結果、会計帳簿の処理は適切であり、上記報告書は適正に作成されていることを報告いたします。

2014年(平成26年)4月18日 会計監査: 百々啓子

【会計幹事コメント】

2013年度は、当年度会費を越えて将来会費を納入していただいた方が多数ありました。また、学生集会所建替えに伴う経費を支援しようと、寄付という形で振り込んでいただいた方も多数あり、上記のように備品や消耗品、引越費用としての現団支援につながりました。今後も、継続的な現団支援や会員交流の原資として、有意義な支出を心掛けます。





✎ 寄付の報告とお礼

昨年度の「同窓会通信」第19、20号において、新しい会費振込用紙のご案内と継続的寄付(任意)のお願いを申し上げましたところ、2013年度一年間を通じて、43名の会員の皆様より25万円余りの寄付を頂きましたので、ここにそのご報告を致す次第です。従来から寄付を受け付けていましたが、特に「同窓会通信第20号」に封入の新振込用紙において「寄付金」欄を設け、匿名を希望された方以外のお名前を次回「同窓会通信」に掲載する旨お伝え致しました。以下に掲載する皆様です。(敬称、寄付額 略)、()内は卒団年)

森 久子(1939) 松本 貞子(1955) 田畑 晃(1958) 吉村 昌子(1958) 狩野 正弘(1959) 植松 武彦(1960)、
増田 博(1960) 野々下 國男(1961) 大澤 孝(1972) 浅野 貞治(1999) 石上 寮一(2005)

この他に匿名を希望された方及び、すでに77才に到達又は払込済みの方は自動的に寄付扱いとしてお名前は略させて頂き、前述の通り、合計43名様から、254,200円の寄付を受け付けたことをご報告し、感謝の意を表します。この寄付金の一部16万円余りを現団支援として、学生集会所の建替えに伴う、現団仮練習場への移転費用や仮練習場内の什器の購入、卒団生への卒団記念マグカップの贈呈に充当させて頂きました。詳しくは2013年度収支報告をご参照願います。会員の皆様からの寄付は今後も継続的に募集し、現団支援や会員相互の交流のための費用に充てる予定です。同窓会活動が今後も継続出来ますよう、年会費の納入及び寄付(あくまでも任意です)を宜しく願い申し上げます。

梅原 節子(S53) 望月 勝房(S43)

✎ 古文書プロジェクト

京大合唱団の過去の団内刊行物のデジタル画像化を進めています。紙面をデジタルカメラで撮影するという地味な作業です。吉田郷弘前会長から引き継ぎました。現在、私が生まれた頃の資料を撮影中ですが、つい文章を読んでしまうのでなかなかかどりません。それにしても先輩団員の文章の真面目なこと。ギャグに走り気味だった私達とは隔世の感があります。某先輩がご結婚されて公認団内結婚第〇号になったという記述もあり、団内結婚をカウントしていたことにも驚かされました。今となっては団内結婚の総数把握は困難でしょう。私の卒団時の同回生男声だけを見ても団内結婚者は5人いますし。私はし損ねましたけど。・・・ほっとけ。



手元にある資料は1970年までですが、それ以降の資料をお持ちでしたら是非お貸しください。できるだけ画像化して行きたいと思います。いつ作業が終わるか五里霧中ですが少しずつでも公開して行ければと考えています。

笠原 浩(S57)

✎ 学生集会所メモリアルマグカップ

同窓会は学生集会所メモリアルマグカップを作成し、現団卒団生にプレゼントすることにしました。マグカップのプリントとして、「京大合唱団70年誌」(2001年)の表紙を飾った佐本俊久氏(S26)による学生集会所のデッサンを氏の快諾のもとに使用させて頂きました。卒団生が同窓会の存在をリマインドできるようデッサンの下に京大合唱団同窓会の名前を入れています。旧学生集会所で活動した年代まで毎年プレゼントする予定です。





同窓会員からのメッセージ



京大合唱団とともに過ぎた25年

小伊藤 亜希子(S62)
(旧姓:坂東、愛称:あこ)

1987年に卒団してから、いつの間にか25年余りの月日が流れました。ボックスが取り壊されたことで、みんなで歌ったり話し合ったりした日々が、よけいに遠い夢だったような気がしてしまいます。

当時いっしょに歌った仲間はみんないい年になりましたが、同期生は今でも1、2年に一度は同窓会を開いて集まり、愛楽曲や当時のレパを歌ったりして楽しんでいます。ちょうどここ数年で自分の子どもが大学生になる人が多く、あの頃の私たちの年なのね・・・と不思議な感じです。合唱を続けている人もちらほら・・・、私は10年ほど前に同期3人でOB合唱団に参加するようになり、それぞれ仕事や子どもの世話に忙しく、月1回の練習にも来れたり、来れなかったりですが、いっしょに歌えるのを楽しみに続けています。ただ10年たっても“若い人たち”と呼ばれているので、“もっと若い人たち”にも参加してほしいです。

OB合唱団で歌った曲のなかには、現役時代のレパだった「機織る星」や「心の四季」などもありましたが、同じ曲でも25年も年を重ねた今歌うと、また違う味わいがあるのを感じます。あの頃は何を考えて歌っていたのかしらと思えば、何も考えていなかったような気もして、やっぱり夢の中にいたみたいです。

昔の仲間と一緒に合唱コンサート

開本 恭子(S53)

40年以上前、大学進学のため京都での生活が始まったばかりのころ、“春発”と呼ばれる演奏会があるからと誘われて聴きに行ったのが京大合唱団との出会いでした。“未経験者も大歓迎”を真に受けてそれまで歌にも合唱にも全く縁のなかった私が今もその頃の仲間と歌っているのですから人生は分からないものです。

今は、同窓会合唱団、当時のメンバーを中心に発足したアンサンブルエターナル、そして最近、大阪にある混声合唱にも足を突っ込んでしまいました。一緒に歌う仲間刺激を受け、いつの間にか私の必須栄養素のようになってはならないものになってしまった合唱の原点が京大合唱団です。

先日はそのアンサンブルエターナルが発足から12年目にして初のホールで単独コンサートを開くことができました。月1回の練習はとて和やかでもあり、結構シビアでもありましたが、“長い年月に熟成された大人の女声合唱の響きを皆様披露できた”と自画自賛し、次のステージに向けて夢を膨らませています。

長野県茅野市の山荘で合宿

青柳 建夫(S40)

5月10～11日長野県茅野市の山荘で合宿が企画されました。東京洛友ハーモニー1月度練習日の案内に応え11名が参加。平地の緑と山々に残る雪のコントラストはみごと。1日目私はテニス三昧でしたが、山寺隆シェフをはじめ女性メンバーは料理作りに専念し、夕食には、豚肉とキャベツのビール煮、筑前煮、サラダ、スペイン風オムレツ、炊き込みごはんなどが食卓を飾りました。2日目の朝は、ボンゴレ・ロツ、鱈のお吸い物を食べたあと、白樺湖に行き周辺を一周。昼は石田わか子さん(S48)の妹さんが営む店で蕎麦を頂きました。その後蓼科湖までドライブし、夕方予定を終え茅野駅で解散。2日間移動のため車を手配頂いた石田さんにはたいへんお世話になりました。

山寺 隆(S50)

先日の茅野は天候も素晴らしく楽しい時を過ごすことができました。私は料理を担当しましたが、お楽しみ頂けたでしょうか。10人以上となると、作る側もメニューの段取りにいろいろ問題が生じ、こちらのテンションが上がった時もあったかもしれません。皆様のご協力に感謝します。

アンサンブル・ヴォーチェの近況報告

石津 一正(S48)

大学を卒業して41年が過ぎました。まだ会社勤めしています(しかも単身赴任)。

先輩の五味さんが始められたアンサンブル・ヴォーチェという合唱団に通うようになり7年。その五味さんの突然の辞任と解散の危機。ようやく合唱が楽しくなってきた矢先でした。悩んだ末、合唱団を続けていくことを決意、無謀にも世話役まで引き受けました。

というわけで豊橋、京都、千葉県を行き来する日々が続いています。幸い家内も同じ合唱団におり、家庭の崩壊だけは防いでいるようです。東京洛友ハーモニーにも顔を出していますが、不良団員の状態は単身赴任解消まで続きそうです。

アンサンブル・ヴォーチェは宗教曲をオーケストラ付きで演奏することをウリにしており、月1回の練習で演奏会は2年に1回。現在団員募集中です。関心のある方は是非下記のホームページをのぞいてみてください。

<http://www.prmvr.otsu.shiga.jp/ensemblevoce/>

お知らせ

東京都合唱祭に出演します ～東京洛友ハーモニー～

関東地区の同窓生を中心にした合唱団、東京洛友ハーモニーが、ことしも東京都合唱祭に出演します。洛友ハーモニーでは、親しみやすい曲を楽しく歌うとともに、しっかりした曲にも挑戦し、荻久保和明作曲の「季節へのまなざし」に4年がかりで取り組んでいます。今年は3年目で、合唱祭では「2. のびる」を演奏します。このところ、昭和60年代から平成初頭に卒団の比較的若いメンバーの入団も増えてきました。親子以上の年齢の差のある団員が、一体感を持って歌える喜びを強く感じています。合唱祭の出演予定は、7月13日(日)午後2時30分ころで、場所は新宿文化センターです。入場無料ですので、関東周辺在住でお時間のある方はぜひ会場におこしください。

♪ 東京洛友ハーモニーの紹介 ♪

練習曲： 混声合唱曲「季節へのまなざし」伊藤海彦作詞 荻久保和明作曲
混声合唱曲「うぐいす」チャイコフスキー作曲 など

当面の練習予定：(原則 毎月最終日曜日) 8月31日(日)、9月28日(日) いずれも14:00～17:00

場 所： スタジオヴィルトゥオーゾ(新大久保)

問い合わせ・連絡先： 044-989-3304 yukario@d2.dion.ne.jp 織田一範(S47)

名古屋男声合唱団と合同演奏会 ～同窓会合唱団～

名古屋大学男声合唱団OBで構成されている「名古屋男声合唱団」と合同演奏会を開催いたします。多くの方の来場をお待ち致します。詳細は折り込みのちらしをご覧ください。 杉本 修(S47)

「Joint Concert 2014 一京都の仲間を迎えてー」(名古屋男声創立10周年記念)

《日時》2014年9月20日(土)14:00開演 《場所》名古屋大学豊田講堂

*第1ステージ： 名古屋男声合唱団「さだまさし&クラシック」

*第2ステージ： 京大合唱団同窓会合唱団女声：なかにしあかね作曲「今日もひとつ」より
混声：三善晃編曲混声合唱とピアノのための「山田耕筰による五つの歌」より

*第3ステージ： 名古屋男声合唱団「林光の作品から」寺嶋陸也委嘱編曲；

*第4ステージ： 男声合唱合同演奏(多田武彦の作品から)「富士山」「早春」「紀の国」

(演奏会をお聞きになりたい会員は、当日会場受付に同窓会会員用招待券を用意していますのでご利用ください。)

編集後記

今年の春は、大変でした。気候変動が、上下して定まらず。過ぎて見ると、花は咲き、美味しいみのりがあり、つつがなく暑い夏が、来つつあるのですが。皆さんのところは大丈夫でしたか？

思い起こせば、随分、長く合唱にかかわり、歌が身近にありました。「おお牧場はみどり」をNHKテレビ「みんなのうた」で見たとときの驚きから10年後、「緑の森よ」を、混声の二百人で歌った入団間もない頃。ビールの味を知ったのは、「春の発表会」の後の打ち上げという、宴の場でした。学園紛争の真っ只中に入學した私たち。バリエード封鎖で行くところがない時は、まずあのBOXに向いたものでした。思い出はほろほろ手繰り寄せれば、脈絡もなく次から次へと湧いてきます。

それら一人一人のドラマを、受け入れ、受け渡す場になっていた、百年の学生集会所は、予定通り更地になり、伐られた銀杏並木周辺は、地下十米まで掘り下げられようとしています。その建築現場を垣間見ていると、これからの百年もどうか、平和で、歌う喜びがかつてのように奪われたりしませんように、と祈るおもいです。

来年夏には、新しい集会場につどう催しも提案できそうですし、総会も予定されています。

からたちの白い花は、いつしか緑の実をつけ、青い針のとげが、日に日に鋭さをましています。 石動 敬子(S48)

★ 同窓会通信は同窓会全体の主要な動きを会員にお知らせするとともに、会員相互のコミュニケーションを図ることを目的にしています。皆様の積極的な投稿を歓迎します。

送信先：✉ kucdosokai@gmail.com Fax：☎ 075-241-4933